

一般財団法人 日本医学物理士会
2017 年度 活動に関する会員アンケート調査報告

理事長 福士政広
理事 ・ 企画委員長 黒岡将彦
理事 ・ 編集委員長 宮下久之

I. アンケート回答者情報

総回答者数 142 名

対会員割合(正・準) 22.4%

I-1 主業務とする職名

職名	実数 [人]	割合 [%]
医学物理士	60	42.9
診療放射線技師	72	51.4
放射線治療品質管理士	3	2.1
医師	0	0.0
大学教員または研究員(臨床に非従事)	3	2.1
メーカー	2	1.4
その他	0	0.0

I-2 実務経験年数

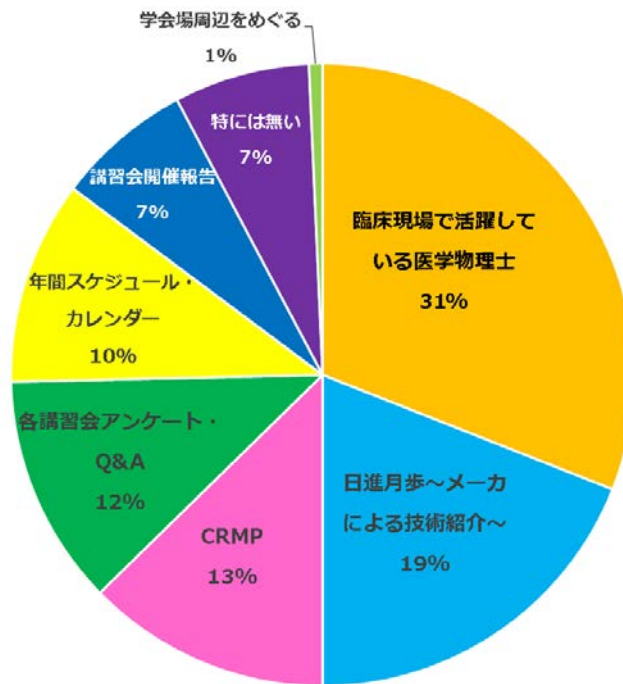
年数	実数 [人]	割合 [%]
1年	4	2.8
2年	3	2.1
3年	8	5.6
4年	8	5.6
5年	11	7.7
6年	7	4.9
7年	12	8.5
8年	9	6.3
9年	5	3.5
10年	13	9.2
11-15年	35	24.6
16-20年	13	9.2
20年以上	14	9.9

I-3 勤務地域

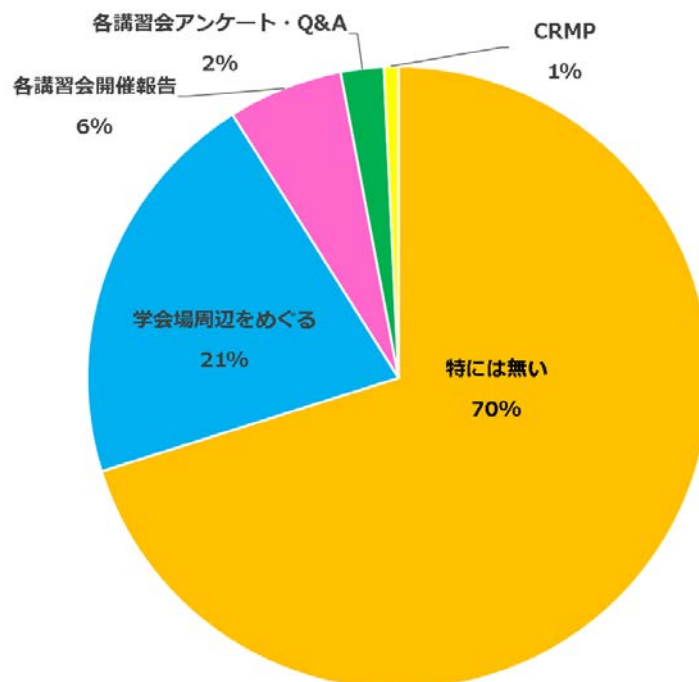
地域	実数 [人]	割合 [%]
北海道	4	2.8
東北・北陸	13	9.2
関東	57	40.1
東海	26	18.3
近畿	19	13.4
中国・四国	9	6.3
九州・沖縄	14	9.9
海外	0	0.0

II. 会誌に関する会員アンケート

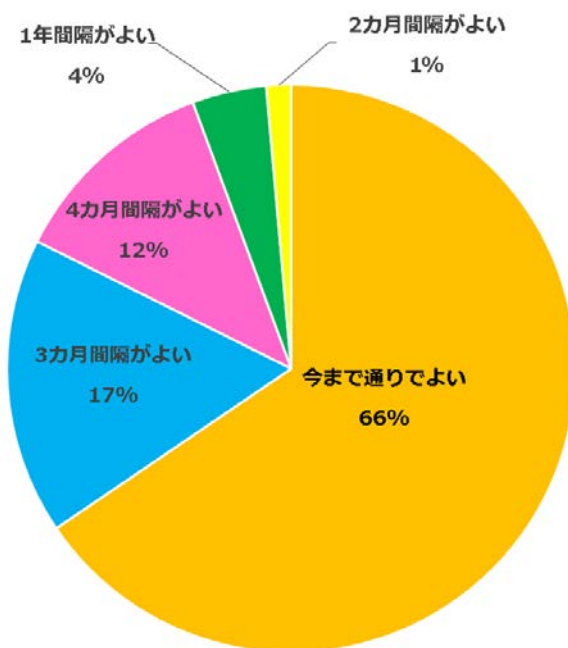
II - 1 現在定期掲載しているコンテンツの中で、あなたが最も有用であると思うものを1つ選んでください



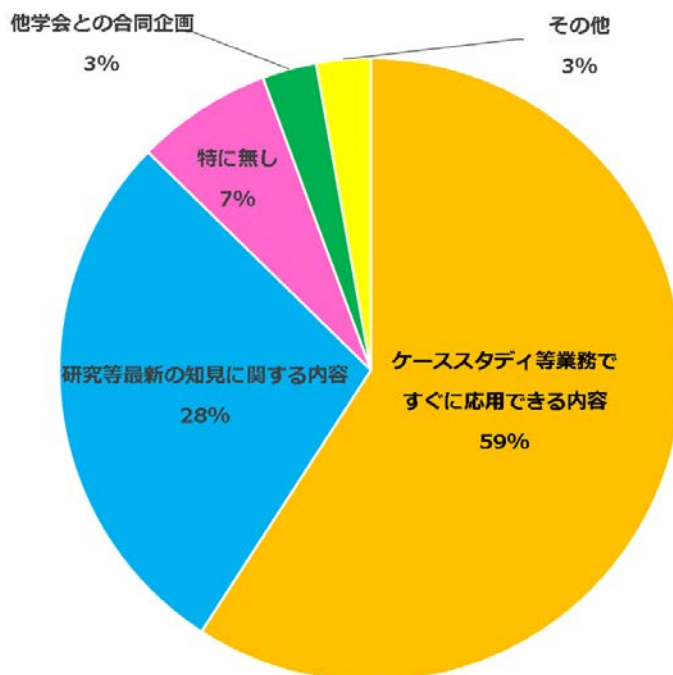
II - 2 現在定期掲載しているコンテンツの中で、あなたが不要であると思うものを1つ選んでください



II - 3 現在会誌発行間隔は半年に1号発行ですが、このことについてあなたの意見を1つ選んでください



II - 4 今後会誌で新規企画を立ち上げる場合、どのような内容を希望されますか？下記より1つ選んでください



II - 5 その他、会誌に対して意見・要望があればご自由にお書きください

- 「臨床現場で活躍している医学物理士」はいつも同じ内容で得るものがない。施設として特に力を入れている点や、他施設と協力してこのような取り組みをしている、という話があっても良いと思う。
- 2-4 の問いについて、1 つだけの選択だったのでケーススタディを選んだが、最新の知見も重要だと思う。
- Web 上でバックナンバーを取得できるようにしてほしい。
- お忙しい中会誌の作成ありがとうございます。「学会場周辺をめぐる」に関して非常に楽しみにしているのですが、いつも学会に言っている最中に所属先に届きます。学会から戻り会誌をみて、あそこに行けばよかった一、となるので、大変かと思いますが出来たら学会一週間前には会誌が届くように作成していただけますと助かります。
- ソフトな紙面で、理事にかたからにコメントもあると面白いと思います。
- 会誌は半年に 1 回でよいですが、CRMP はメール配信も加えて頻度を月 1 くらいでもいいと思います。
- 会誌発刊には労力と費用がかかるので、HP をさらに充実することで紙ベースは廃止したほうが良いと思います。
- 会費が高くなるなら今のままでいいが、そのままなら会誌の回数を増やしてほしい。
- 海外の情報の動向をもっと入れて頂きたい。
- 学会終了後に手元に冊子が届くので、「学会場周辺をめぐる」を載せるならもっと早くに送付してほしい。
- 業務に応用できる内容の充実。
- 現状でも役立つ情報が多く、最新情報が入手しにくい地方の病院としては、大変ありがたく思っています。
- 講習会のアンケートである質問に対し、答えがあまりにもわかりきっていたものであったとしても、参考文献を挙げていただけると後学になります。
- 職能団体として、医学物理学会とは異なる内容にして欲しい。
- 全国の放射線治療品質管理室の設置状況や外部委員の参加率などが知りたい。
- 電子化しても構いません。
- 発行間隔を長くして、その分 1 冊のボリューム(厚さ)を多くしてほしい。海外論文のレビューや国内論文の紹介のページを増やしてほしい。
- 物理士試験の解答が一番有用に感じます。これを早めに出してほしい。また可能であれば、記述の解答もほしい。
- 物理士募集情報の掲載。
- 臨床現場に応用できる内容をもっと掲載してほしい。

III. 講習会に関する会員アンケート

III-1 医学物理士セミナー(聴講型)について

III-1-1 医学物理士セミナー(聴講型)の年間開催回数について

年に何回程度の開催をご希望されますか？

希望回数	実数 [人]	割合 [%]
1回	22	15.5
2回	57	40.1
3回	19	13.4
4回	28	19.7
5回以上	16	11.3

III-1-2 医学物理士セミナー(聴講型)の希望テーマについて

医学物理士セミナーで希望するテーマを教えてください。

希望テーマ	実数 [人]	割合 [%]
放射線治療装置のコミッショニング・QA	62	43.7
放射線治療計画装置のコミッショニング・QA	65	45.8
放射線治療計画	84	59.2
放射線治療計画装置の原理 (線量計算アルゴリズムetc.)	77	54.2
DIR, Adaptive radiation therapy (ART)	52	36.6
IGRT, 呼吸性移動対策	63	44.4
小線源治療	22	15.5
放射線物理学・放射線計測学	43	30.3
放射線生物学	29	20.4
医療安全	16	11.3
医療統計学・データ解析	62	43.7
医療情報 (DICOM, IHE等)	28	19.7
機械学習, AI, Radiomics, IoT	35	24.6
ガイドラインの解説	50	35.2
その他 (研究開発的なテーマ)	1	0.7
その他 (治療以外)	1	0.7
その他 (放射線腫瘍学)	1	0.7
その他 (粒子線治療)	1	0.7

III-2 講習会(セミナー)の地方開催について

III-2-1 セミナー開催地区について

今後セミナーの開催を希望する地区を教えてください。

希望地区	実数 [人]	割合 [%]
北海道	4	2.8
東北・北陸	11	7.7
関東(東京以外)	24	16.9
東海	21	14.8
近畿	38	26.8
中国・四国	5	3.5
九州・沖縄	12	8.5
地方開催は必要ない	27	19.0

III-2-2 地方開催セミナーのテーマについて

東京以外の地区で医学物理士セミナーを開催する場合、セミナーのテーマは東京開催のものと同じものが良いですか？

希望テーマ	実数 [人]	割合 [%]
東京開催のセミナーと同じテーマ	96	67.6
東京開催のセミナーとは異なるテーマ	28	19.7
地方開催は必要ない	18	12.7

III-3 実習型講習会について

III-3-1 今後の実習型講習会の希望テーマについて

今後希望するテーマを教えてください。

希望テーマ	実数 [人]	割合 [%]
IMRT/VMATのコミッショニングとQA	77	54.2
IMRT/VMATの線量検証	71	50.0
IGRT装置のコミッショニングとQA	60	42.3
呼吸性移動対策に関わるコミッショニングとQA(呼吸同期照射)	77	54.2
小線源治療装置・計画装置のコミッショニングとQA(高線量率)	22	15.5
小線源治療装置・計画装置のコミッショニングとQA(低線量率・永久挿入)	11	7.7
放射線治療計画(通常照射)	50	35.2
リニアックのビームデータ測定	39	27.5
体内線量推定	44	31.0
粒子線治療の計測	1	0.7
Adaptive RT	1	0.7
サイバーナイフのコミッショニングとQA	1	0.7

III-4 宿泊型セミナーについて

短期集中型のスクール形式のセミナー開催を検討しています。実現に向けて皆様のご意見をお聞かせください。

III-4-1 参加希望について

サマースクールなどの宿泊型セミナーが開催されたら、参加してみたいですか？

選択肢	実数 [人]	割合 [%]
参加してみたい	43	30.3
興味はあるが、参加できるか今はわからない	71	50.0
参加しない	18	12.7
わからない	10	7.0

III-4-2 内容(テーマ)について

どのような内容であれば参加したいと思いますか？

概要案 A

駆け出しの医学物理士の方のレベルを対象にした、短期集中型のスクール形式のセミナー。講義テーマは、通常治療から高精度治療や小線源治療まで、いわゆる「臨床医学物理」に関する項目を基礎から実践レベルまで系統的に学び、日々の診療に直結した知識を習得する。

概要案 B

AAPM の Summer school のように、1つの大テーマに対する各論を学び、広く深い知識を習得する。

選択肢	実数 [人]	割合 [%]
概要案A	61	48.0
概要案B	65	51.2
提示された以外の内容を希望する	1	0.8
参加するつもりはない	15	

III-4-3 開催日数について

どの程度の開催日数であれば参加可能ですか？

選択肢	実数 [人]	割合 [%]
1泊2日	101	71.1
2泊3日	21	14.8
3泊4日	1	0.7
その他	1	0.7
内容による	1	0.7
参加するつもりはない	17	12.0

III - 4 - 4 宿泊型セミナーに対する自由意見

- 医学物理学会のサマーセミナーと連携してほしい また、地方開催は無理かもしれないが、各種セミナーを Web 聴講可能な形にしてほしい。低予算で。
- AAPM を参考にする。
- 可能な範囲で実習も取り入れて頂きたい。
- 宿泊場所は各自という形で構いません。宿泊、飲食込の参加費用の場合、支出の仕切りが難しいです。
- 宿泊型セミナーは個室ならば参加してもよい。
- 講習会やセミナー等について、他の学会や機構と連携して実施できないでしょうか。
- 短期間で勉強できるのはいいが、家庭との関係で宿泊できない人に日帰りの通いでも参加できるようにしてほしい。
- 講師の方が一定の方ばかりなので、日本はその方のみかと思ってしまう。講師の選択も様々な視点から、すなわち受講者への教育は最低限達成できる講師を選択した上で、講師の教育的視点も含め、講師の選択をしてほしい。
- 医学物理学(放射線計測理論の詳細)や放射線生物学など、短期間では習得できないテーマを希望します。
- 土曜日曜で開催希望。
- 宿泊型(短期間集中)ではなく、短期間の集中講座(週 1 で 1 ~ 2 ヶ月とか)があると嬉しい。業務の都合が付けやすいので。。。
- 宿泊に関して、知らない人との同室は気を使うので参加し難い。
- TPS を利用した講義も取り入れてほしい。

III - 5 学術集会(学術講演会)について

JCMP が主催する学術大会の開催を検討しています。実現に向けて皆様のご意見をお聞かせください。

III - 5 - 1 参加希望について

学術集会(学術講演会)が開催されたら、参加してみたいと思いますか？

選択肢	実数 [人]	割合 [%]
参加してみたい	85	59.9
興味はあるが、参加できるか今はわからない	45	31.7
参加しない	3	2.1
わからない	9	6.3

III - 5 - 2 内容について

どのような内容であれば参加してみたいと思いますか？

概要案 A

通常の学会の学術大会と同様の演題構成: 一般演題(口頭・ポスター), 要望演題, 教育講演, シンポジウム, ランチョンセミナー等

概要案 B

教育講演, シンポジウム, ランチョンセミナー等, 教育的内容に限った演題構成

選択肢	実数 [人]	割合 [%]
概要案A	52	36.6
概要案B	84	59.2
提示された以外の内容を希望する	6	4.2
参加するつもりはない	0	

III - 5 - 3 学術集会(学術講演会)に対する自由意見

- 秋の医学物理学会は春に比べて参加者が少ないです。医学物理学会会期中に併催するという形で開催してはどうでしょうか。出張する側も参加しやすくありがたいです。
- 学術大会、地方会、各地域の勉強会など乱立している気がします。
- 米国も研究要素が強い演題発表は AAPM の annual meeting で、臨床要素が強い演題発表は spring clinical meeting として別で開催されており、すごく良い案だと思いました。実際、通常の JSMP ではあまり臨床的要素が強い発表は演題登録しにくい雰囲気がありますので...ぜひ開催してほしいです！
- 学術大会参加が物理士の単位になるようにお願いします。発表は日本語で活発な議論をしたい。
- 一つの演題に対して、じっくりと議論できる(発表時間 15 ~ 20 分 + 質疑応答 5 ~ 10 分)学術大会であって欲しい。
- 物理士会では学術大会を開催するには時期尚早かと思えます。
- 通常の学会と同じような構成だと、春や秋の大会、JASTRO の高精度部会のように同じような学会が増えてしまい、開催時期なども被ってしまわないか？他学会と差別化を図る様な内容の方が、参加意欲が湧くと思う。
- 宿泊セミナーを学術講演会のような形で実施してください。
- 品質管理・医学物理講習は秋季の学術大会で開催されるが、春季での開催も検討してほしい。
- 通常の学術大会では JSMP とあまり代わり映えせず意味がないのでは。
- 概要案 A だと、JCMP や JASTRO とのバッティングやこれらの応募演題数の低下につながってしまうことが懸念される。
- 医学物理学会による学術大会の内容を充実させる方を優先すべきかと考えます。あらたに立ち上げると多くの労力を要しますし、医学物理学会との差異がわかりにくいと感じます。また、概要案 B は現状の物理士会主催のセミナー等と同じではありませんか？
- 1 日で完結する内容が良いです。
- 研究のためになるものであれば、ぜひ参加したい。
- 医学物理学会との区別をどのようにするか。日本では職業としての医学物理士が少ないため違いがないと人は来ないと思います。
- 医学物理学会との関係が技術学会と技師会のようにならなければよいと思う。
- 医学物理学会との差別化ができるのか疑問。
- 職能団体が学術大会を実施する意味がわかりません。
- JSMP や JSRT との合同開催が良い。
- JSMP との差別化が重要なのだと思います。恐らく JSMP より小規模になるでしょうから、1 つのトピックに絞って周期的に開催してはどうでしょうか？1 年目外照射、2 年目小線源、3 年目粒子線、4 年目診断核医学のローテーションとか。それぞれ内容を広く深く掘り下げて、海外も含めて先端分野の先生もお招きして、研究でも教育でも JSMP より専門性の高い学会になると嬉しいです。
- B のような形式で行われるならぜひ参加してみたい。

- 年2回ならA・Bそれぞれで。